

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公表番号】特表2009-535918(P2009-535918A)

【公表日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2009-039

【出願番号】特願2009-507864(P2009-507864)

【国際特許分類】

H 04 W 88/06 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 6 5 3

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月5日(2010.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線デバイスの動作を制御するための方法であって、

第1のモードで遠隔デバイスからの初期入力信号を受信する工程と、

ネットワークの現在の混雑レベルを判定する工程と、

前記ネットワークの現在の混雑レベルが第1の範囲内である場合、第2の動作モードが第1の可能性のあるモードとなると判断する工程と、

前記ネットワークの現在の混雑レベルが第2の範囲内である場合、前記第2の動作モードが第2の可能性のあるモードとなると判断する工程と、

前記第2の動作モードで送受信すべく、前記第1のモードで前記遠隔デバイスに命令を送信する工程とを備える無線デバイスの動作を制御するための方法。

【請求項2】

無線デバイスの動作を制御するための方法であって、

第1のモードで遠隔デバイスからの初期入力信号を受信する工程と、

初期入力信号のネットワークの現在の混雑レベルを判定する工程と、

前記初期入力信号の前記ネットワークの現在の混雑レベルが第1の範囲内である場合、第2の動作モードが第1の可能性のあるモードとなると判断する工程と、

前記ネットワークの現在の混雑レベルが第2の範囲内である場合、前記第2の動作モードが第2の可能性のあるモードとなると判断する工程と、

前記第2の動作モードで送受信すべく、前記第1のモードで前記遠隔デバイスに命令を送信する工程と、

前記遠隔デバイスに前記命令を送信した後に、前記第2の動作モードで遠隔デバイスからの動作入力信号を受信する工程と、

前記動作入力信号のネットワークの現在の混雑レベルを判定する工程と、

前記動作入力信号の前記ネットワークの現在の混雑レベルが前記第1の範囲内である場合、第3の動作モードが前記第1の可能性のあるモードとなると判断する工程と、

前記動作入力信号の前記ネットワークの現在の混雑レベルが前記第2の範囲内である場合、前記第3の動作モードが前記第2の可能性のあるモードとなると判断する工程と、

前記第3の動作モードで送受信すべく、前記第2のモードで前記遠隔デバイスに命令を送信する工程とを備える無線デバイスの動作を制御するための方法。

【請求項 3】

無線デバイスの動作を制御するための方法であって、

第1の動作モードで遠隔デバイスから要求されたモードの指定のための要求を含む動作入力信号を受信する工程と、

前記要求されたモードが適切なモードであるか否かを判断する工程と、

前記要求されたモードが適切である場合、第2の動作モードを前記要求されたモードとなるように設定する工程と、

前記要求されたモードが適切でない場合、前記第2の動作モードを別のモードとなるように設定する工程と、

前記第2の動作モードで送受信すべく、前記第1のモードで前記遠隔デバイスに命令を送信する工程とを備える無線デバイスの動作を制御するための方法。

【請求項 4】

無線ネットワーク内の遠隔デバイスの動作を制御するための方法であって、

第1の動作モードで初期入力信号を受信する工程と、

遠隔デバイスのバッテリ残量の解析に基づき、第2の動作モードで動作することが望ましいか否かを判定する工程と、

前記判定する工程において前記第2の動作モードで動作することが望ましいと判定された場合、前記第2の動作モードに変更するように制御デバイスに対して要求を送信する工程と、

前記遠隔デバイスを新しい動作モードで動作するように指示する命令を、前記第1の動作モードで前記制御デバイスから受信する工程とを備え、

前記新しい動作モードが、前記第1の動作モード、前記第2の動作モード、及び第3の動作モードの何れか一つである、遠隔デバイスの動作を制御するための方法。

【請求項 5】

無線デバイスの動作を制御するための方法であって、

第1のモードで遠隔デバイスからの初期入力信号を受信する工程と、

ネットワークの現在の混雑レベルを判定する工程と、

前記ネットワークの現在の混雑レベルが第1の範囲内である場合、第2の動作モードが第1の可能性のあるモードとなると判断する工程と、

前記ネットワークの現在の混雑レベルが第2の範囲内である場合、前記第2の動作モードが第2の可能性のあるモードとなると判断する工程と、

前記第2の動作モードで送受信すべく、前記第1のモードで前記遠隔デバイスに命令を送信する工程とを備え、

前記第1の可能性のあるモードは全二重通信モードであり、前記第2の可能性のあるモードは半二重通信モードである、無線デバイスの動作を制御するための方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】無線デバイスの動作を制御するための方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、一般に無線デバイスの動作を制御するための方法に関する。具体的には、デバイス、ネットワーク又は環境パラメータを変更するための責任を担うべく、遠隔無線機器のモードを動的に変更するための方法に関する。